

面積:606.2平方キロ

人口:2,705,994人(2019年国勢調査概算,全米第3位)  
(白人32.8%,黒人30.1%,ヒスパニック29.0%,アジア6.4%)  
(2019年国勢調査概算)

設立:1837年3月4日 愛称:Windy City

# シカゴ市概要



令和2年4月現在  
在シカゴ総領事館

## 政治

### 【シカゴ市概観】

1. 市長:ローリー・ライトフット(Lori Lightfoot)(民)  
2019年5月20日就任
2. 議会構成:  
議席数 50 (各議員は党派を名乗れないが,事実上民主党46,独立系4)

### 【政治】

イリノイ州は広大な農業地帯では共和党支持が根強い中,シカゴ市とその近郊では民主党が圧倒的で,民主党は30年代以来シカゴ市長を独占。  
利権に基づく「マシーン政治」を受け継ぐJ・デイリー市長(1955-76)の息子M・デイリー市長(6期)の引退後,2011年にシカゴ初のユダヤ系市長となったエマニュエル市長(元オバマ大統領首席補佐官)は,シカゴ警察と連邦移民局との連携を一部捜査に限定したり,不法滞在者に市独自の身分証明書を発行する等,移民のサンクチュアリー(聖域)を拡大してトランプ政権との対立姿勢を露わにする一方,企業の本社誘致や観光客増大等で功績を挙げたが,2期で引退。  
2019年4月の市長選では,シカゴの「マシーン政治」を倒すと主張した新人のローリー・ライトフット元連邦検事・弁護士が,混戦の中から大方の予想を覆して当選。シカゴ初のアフリカ系女性市長,全米初の大都市の同性愛者市長となり,警察を含む汚職の排除,治安の向上,立ち遅れている南部,西部の経済発展に果敢に挑戦中。  
なお,オバマ元大統領は,ハーバード大学のロースクール卒業後にシカゴ市南部で地域政治活動を開始,その後イリノイ州上院議員を3期,連邦上院議員を1期(6年の内3年)務めたことから,シカゴ市を「地元」としており,市内ジャクソン・パークの隣に「バラク・オバマ大統領センター」を建設予定であるが,未だ建設は開始しておらず完工時期も未定。

## 経済

### 【経済規模,特徴等】

- ・シカゴ市は人口約271万人。周辺地域も含めた都市圏の人口約950万人。(2018年)
- ・都市圏の総生産額:6,895億ドル(2018年),イリノイ州全体(8,653億ドル,2018年)の約80%
- ・都市圏の一人当たり所得:61,089ドル(2018年)
- ・都市圏の失業率:3.2%(2019年12月)
- ・金融,法律・会計サービス,製造業,運輸,食品,医療関連企業等が集積。
- ・市内には,全米売上高トップ500社のうちボーイング,ユナイテッド航空,モトローラ(通信),マクドナルド(フードサービス)など13社の本社が所在(2019年)。
- ・先物の中心地,CME(シカゴ・マーカンタイル取引所)の金融先物(金利,外国為替,株価指数等)・商品先物(農産物等)は,世界の相場動向に影響力。
- ・大陸の東西を結ぶ鉄道など陸運網の結節点。また,オヘア空港(離発着数全米第1位,世界第2位)は,航空物流の拠点。

### 【観光】

- ・市内訪問客数:5,767万人(内訳:国内旅行者5,609万人/国外旅行者158万人)(2018年)。約80%がレジャー目的。市内観光産業は15万人の雇用を支えている。

### 【貿易】

- ・主要輸出品目:石油・石炭製品,計測機器,コミュニケーション機器,自動車部品,自動車など。  
(注:米商務省国際貿易局データ)

### 【対日経済】

- ・日系企業事業所数:80事業所,約4,500人を雇用(シカゴ市内/2018年)(イリノイ州全体では,約730事業所,そのうち製造業が約5割)。
- ・イリノイ州の対日輸出額は約21.2億ドル(全体の3.5%)で,カナダ(156億ドル,26.0%),メキシコ(93億ドル,15.5%),オーストラリア(35億ドル,5.8%),ドイツ(33億ドル,5.5%),中国(29億ドル,4.9%)に続き,第6位(2019年)。

## 日本との関係

### 【要人往来】

- (往)18年7月,エマニュエル市長が訪日。
- (来)04年9月,河野衆議院議長が来訪。05年9月末~10月初,常陸宮同妃両殿下が中南米ご訪問の途次に御来訪。10年6月,前原国土交通大臣が高速鉄道セミナー出席のため来訪。12年5月,玄葉外務大臣がNATO首脳会合出席のため来訪。17年7月,武井外務政務官が来訪。18年5月,藪浦総理補佐官及び岡本外務政務官が来訪。

### 【文化,広報関係】

- シカゴ日米協会が活発に活動(1930年創設)。
- 1893年のシカゴ万博の日本パビリオン「鳳凰殿」跡地は日本庭園(ジャクソン・パーク内「フェニックス・ガーデン」となっており,大阪門やオノ・ヨーコ製作のモニュメントがある)。
- 2011年10月,シカゴマラソンと大阪マラソンが提携。
- 2012年の日米桜寄贈100周年記念事業では,イリノイ州グレンコー村にあるシカゴ植物園内の日本庭園に20本の苗木を植樹。
- 2013年~2016年,草の根団体「プロジェクト120」が「鳳凰殿」建設120年,シカゴ日本商工会議所が創設50周年をそれぞれ記念して,計120本を越える桜をジャクソン・パークに寄贈。
- 2018年には国土交通省の「海外日本庭園再生プロジェクト」の下で「フェニックス・ガーデン」の改修計画を策定(2019年に一部改修実施)。
- 2018年6月,シカゴ市ミシガン通りと大阪市御堂筋通りが姉妹通り提携。
- 【在留邦人数(2019年10月1日現在)】  
シカゴ市:2,728人  
シカゴ近郊(シカゴ市及び日本企業・学校等の多いシャンバーグ,アーリントンハイツ,ホフマンエステイツ等を含む):12,257人(参考:イリノイ州全体 15,405人)
- 【日本人学校・補習校数】  
双葉会:全日校1校,補習校1校(シカゴ近郊のアーリントンハイツに所在)(イリノイ州全体では計3校)
- 【姉妹都市関係】  
大阪市(大阪府)—シカゴ(1973年11月提携。2018年に45周年を迎え,同年6月に吉村大阪市長が来訪)